

IR

Investor Relations

2013 News

第49期 事業のご報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

- Contents
- トップメッセージ
 - 特集
 - 財務ハイライト
 - セグメント別事業概況
 - トピックス
 - 会社概要



トップメッセージ

トータルシステムを推進し
さらなる成長を目指します！



代表取締役社長

洞下 英人

Q1 当期(平成25年3月期)の概要についてお聞かせください。

A1 当社グループの当期実績は、売上高が151億円(前期比9.1%増)、経常利益は8億40百万円(同44.0%増)と増収増益となりました。前半は首都圏を中心とした再開発需要の伸びを受けて東日本地域が順調に推移し、後半は市況が好転し西日本地域でも一部回復の兆しが見えてきました。事業別では、主力製品である金属系・接着系アンカーや電動油圧工具の販売が好調であったほか、建物の外壁補修関連やFRPシート関連製品の受注、さらに太陽光関連製品の引合いも順調に推移しました。センサー事業については需要の一巡から売上が伸び悩みましたが、グループ全体としては売上・利益共に良好な実績を残すことができました。

リーマンショック以降、厳しい経営環境が続きましたが、その間、3つの改革(人財改革、組織改革、システム改革)を推進してきました。その成果が徐々に経営成績にも現れはじめた印象があります。コストダウンの継続や利益率向上の施策も奏功し、売上高はリーマンショック以前の水準をやや下回りながらも利益水準は上回るどころまで回復しました。

Q2 次期(平成26年3月期)の施策について教えてください。

A2 次期(平成26年3月期)は、売上高160億円、経常利益8億80百万円を計画しております。

■ 経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

■ 社 是

創り、活かし、満たす
「人のお役に立つために、
創造提案型企業をめざす」

■ 社 訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに
貢献します

■ 心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。それは「心の経営」です。心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。こうした日々の実践を通して活気あふれる職場づくりを目指しております。

「社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業プログラム
『倫理17000』の第1号に認定



事業をグローバルに展開するなかで、日本国内でのものづくり、海外でのものづくりの特性を活かすことが求められます。日本では高付加価値の製品を製造する一方で、タイ工場では大量生産を行い、海外ネットワークを強化しながら販売を推進していきます。グローバルな競争では、価格競争ではなく新たな市場を切り開いていくことが重要であり、そのための高付加価値製品の研究開発や製造を日本国内で積極的に進めます。付加価値の高い事業を増やすことで利益を積み上げ、利益率の向上を引き続き目指します。

以上のことを含め、当社グループではさらに盤石な体制を築くために中期戦略を一部改定し、次期は三つの戦略に注力します。一つ目はものづくり体制の強化で、グループ一体となったものづくりの基盤強化を図ります。二つ目はトータルシステムを推進することで当社グループ事業の付加価値並びに、ブランド力を高めます。三つ目が資産(経営資源)の有効活用で、有形・無形資産を積極的に活用し、無駄を省きながらより効率的な体制を整えます。

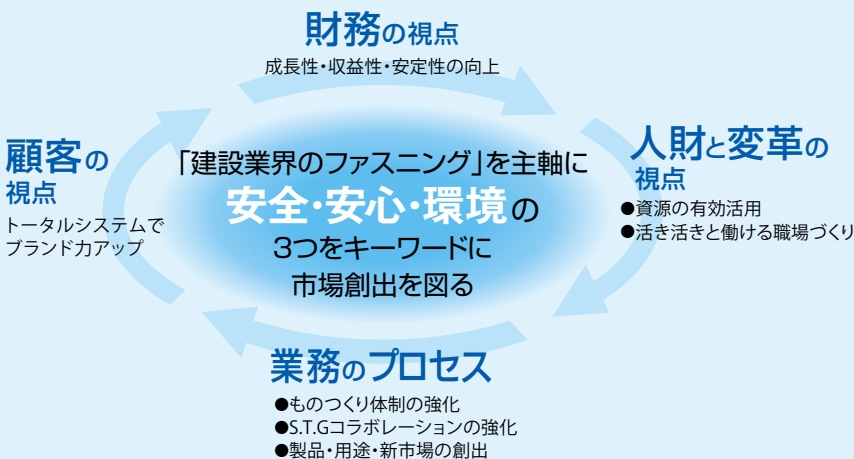
現在推進されている トータルシステムとは どのようなことですか?

A3 トータルシステムとは、製品と製品、製品とノウハウ(工法)、あるいは製品とサービス(体制)など、複数の価値を組み合わせて当社独自の価値を創り出すことです。

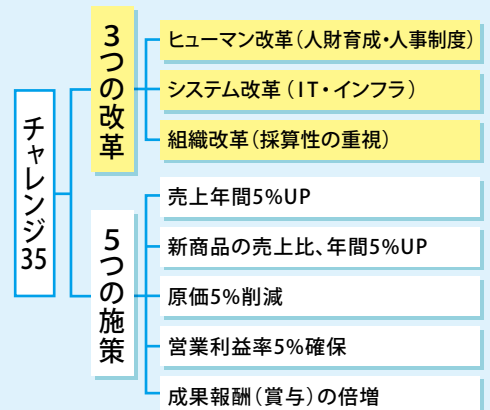
また、当社の製品だけではなく、グループ会社や取引先様等の製品を組み合わせ、ノウハウやサービスを付加することで、製品の製造・販売にとどまらず、お客様の「…したい」にトータルでお応えするシステムです。

トータルシステムを推進することは、当社グループのブランド力を高めることにつながり、同時に技術力の向上にも寄与すると考えます。メーカーにとって最も重要なのはイノベーションであり、つねに技術力を上げ続けなければ厳しい競争に勝ち抜くことはできません。当社独自で培う技術力と取引先様と共同して向上させる技術力が新しい商材の創出へと展開し、具体的な成果として売上高の増加が期待できます。(トータルシステムについては3ページの特集をご参照ください)

■ 中期経営ビジョン・戦略 PLAN2015



■ 経営スローガン・チャレンジ35



最後に、株主・投資家の皆様への メッセージをお願いします。

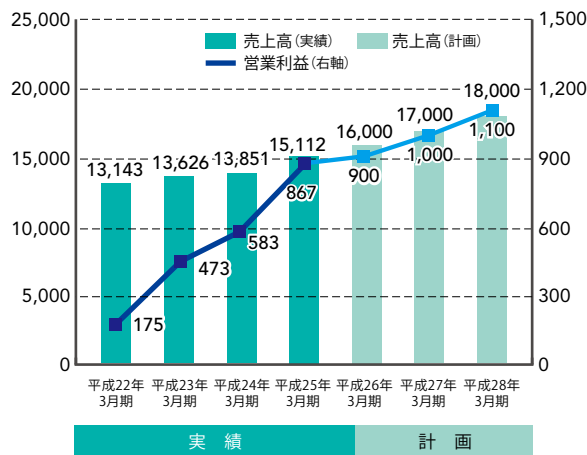
A4 当社グループでは「がんばろう日本!」として復興キャンペーンを行い、東日本大震災で被災された方の一助となるよう努めてまいりました。今後とも、全社員が積極的に社会貢献を行い、「人のお役に立てる」企業であり続ける姿勢を共有し、実践してまいります。

市場変化が激しいなか、新たな分野で成果を上げるには時間がかかりますが、ものづくりに徹した企業を目指し、社員一同引き続き精進していきます。また株主・投資家の皆様には、安定的な配当ができるよう技術革新を進め事業の拡大に努めてまいります。

2013年5月15日をもちまして、創業50年目に入りました。これもひとえに、ステークホルダー(関係者)の皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。引き続き長期的な観点から、当社グループの成長を見守って下さいませよう、何卒よろしくお願いたします。

● 中期経営計画の進捗と計画

(単位:百万円)



特集

サンコーテクノのトータルシステム

トータルシステムとは、製品と製品、製品とノウハウ(工法)、あるいは製品とサービス(体制)など、複数の価値を組み合わせることで当社独自の価値を創り出すことです。

また、当社の製品だけではなく、グループ会社や取引先様の製品を組み合わせ、ノウハウやサービスを付加することで、製品の製造・販売にとどまらず、お客様の「…したい」にトータルでお応えするシステムです。

トータルシステムの推進を通じて、お客様の満足度を高めると共に当社のブランド力を高めていきます。

トータルシステム事例

トータルシステム例① 「安定した品質で安心・確実に施工がしたい」という要望を受けて…



仕様用途に応じたアンカーの選定

ホームページ 設計ガイド カタログ

テストレポートダウンロード

オールアンカー
トルコンアンカー
グリップアンカー
シーティアンカー

アンカーに応じた施工ツール

アンカードリル
ハンドホルダー

アンカーハンマー
ダストポンプ
アンカー打込機

施工管理(確認試験)

テクノテスター AT-10DII

■荷重と変位が測定できる

施工品質

①穿孔
②アンカー施工

アンカー講習会実施

トータルシステム例② 「太陽光パネルを傾斜にとりつけたい」という要望を受けて…



仕様用途に応じたアンカーの選定

N値(地盤強度)確認
確認試験
目安数量算出

施工ツール

土用ロングビット
ディーアースドライバー
多量施工用重機

ソーラー架台システム

調整台座

施工品質

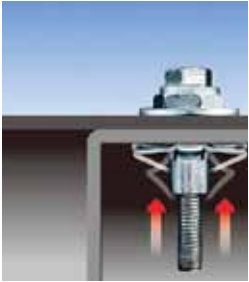
傾斜面への施工
施工講習実施
多量施工

トータルシステムを支える新製品

クロスタイト



クロスタイトワッシャーにより高い締結力を発揮します。



クロスタイトワッシャーの採用により、施工状況が目視で確認できます。



クロス形状（4方向）の開脚が部材同士の隙間を引寄せながら接合します。

特長

ワンサイド施工で作業が省力化

片側からの施工が可能で、作業の省力化を実現します。

クロスの開脚機構で部材同士をしっかりと締結

六角ボルト相当の強度を発揮し、開脚時の引寄せ力で部材間の隙間を無くします。

多機能なクロスタイトワッシャーを採用

過剰な締付けや締付け忘れを防止します。

市販のインパクトドライバで施工可能（専用締結機械不要）

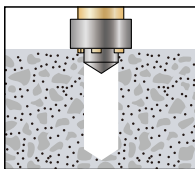
専用の機械は不要で市販のインパクトドライバでの施工が可能です。

ディスクインサート

高いせん断剛性や繰返し性能を要求する工作機械や産業用ロボットの固定に最適な「めねじアンカー」です。



専用工具のザグリドリル



ザグリドリルを使用し、所定の径・深さで穿孔

特長

せん断力に強い

ディスクと軸太形状でせん断力を受け止め、コンクリート支圧破壊による変形を大幅に低減します。

穿孔長さが短い

本体長さがねじの呼びの5倍と短く、施工時の鉄筋干渉が少ないです。

めねじタイプ

施工後の躯体面からボルトが出ないため、機器の交換や移動時の取外しに最適です。

あと基礎アンカー 高強度型 ダイレクトスラブ工法

「あと基礎アンカー」を用いたダイレクトスラブ工法は、アンカー自体が基礎部分となり、太陽光パネルの架台や発電システムなどの設備機器を固定し支えるため、従来工法で不可欠となっていたコンクリート基礎工事が不要になり、大幅な工事期間の短縮を実現しています。



AKH-190 (PV)



特長

安心の荷重性能

「あと基礎アンカー」最大の強度

設備機器や多雪エリアの太陽光発電システム設置が可能です。

軽量レイアウト自在

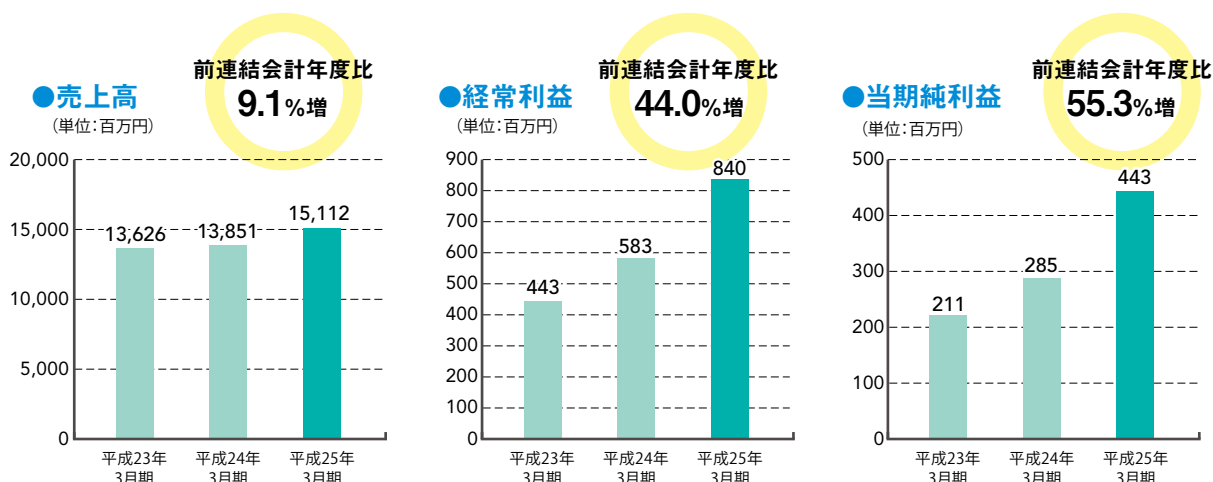
軽量のため屋根スラブへの負担を減らして各種機材を効率よく設置できます。

スピード施工

コンクリート基礎と比べ大幅な工程工期の短縮が可能です。

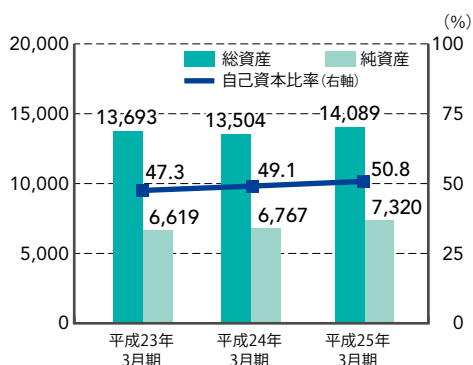
財務ハイライト

当社グループは、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに、ものづくり企業として事業の拡大に努めました。主力製品のあと施工アンカーの売上が好調だったことなどから、当連結会計年度における売上高は15,112百万円（前連結会計年度比9.1%増）となりました。利益面では、コスト削減の継続も奏功し、経常利益は840百万円（同44.0%増）、当期純利益は443百万円（同55.3%増）となり、増収増益を確保しました。



●総資産・純資産 / 自己資本比率

(単位:百万円)



●通期業績(要約)

(当連結会計年度:平成24年4月1日~平成25年3月31日 前連結会計年度:平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度	増減
売上高	15,112	13,851	9.1%
営業利益	867	583	48.7%
経常利益	840	583	44.0%
当期純利益	443	285	55.3%

●貸借対照表(要約)

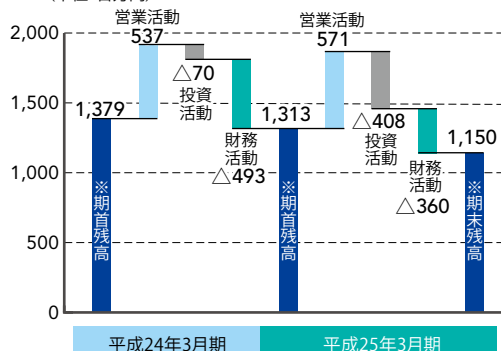
(当連結会計年度:平成25年3月31日現在 前連結会計年度:平成24年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度	増減
流動資産	7,760	7,387	5.1%
固定資産	6,329	6,117	3.5%
資産合計	14,089	13,504	4.3%
流動負債	5,421	5,445	△0.5%
固定負債	1,348	1,291	4.4%
純資産	7,320	6,767	8.2%
負債・純資産合計	14,089	13,504	4.3%

●キャッシュフローの状況

(単位:百万円)



※現金及び現金同等物

セグメント別事業概況

ファスニング事業

あと施工アンカー、建設資材の留め具であるファスナーなどの締結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しています。



リニューアル事業

あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物を守る工法を開発、耐震補強等に活用しています。



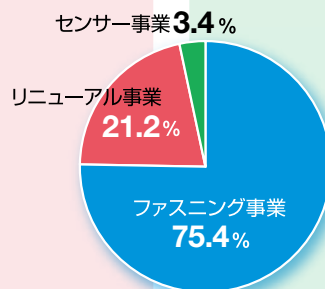
センサー事業

車両の表示板用や工事・事故の表示板用、観測機向けなどの電子プリント基板や各種測定器の生産・販売を行っています。



●セグメント別売上高構成 (平成25年3月期)

※セグメント間取引を含んでいるため、合計額は連結売上高と一致していません。



建設資材の不足や人員不足により工事の着工に遅れが出ましたが、都市圏を中心とした再開発需要の伸びを受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーや電動油圧工具の販売が順調に推移しました。

●売上高
11,487百万円
●セグメント利益
又は損失(△)
765百万円

FRPシート関連製品や外壁補修関連製品が順調に推移しました。また、太陽光関連ではメガソーラー物件の受注や中規模物件の引合いが好調に推移しました。

●売上高
3,221百万円
●セグメント利益
又は損失(△)
180百万円

電子基板関連で試験機関連製品が好調に推移しましたが、アルコール測定器の売上が伸び悩みました。

●売上高
519百万円
●セグメント利益
又は損失(△)
△**95**百万円

Topics



がんばろう日本! キャンペーン第2弾

当社は、東日本大震災復興支援活動として、「がんばろう日本! キャンペーン 第2弾」を通じて震災復興の財源として寄付しました。

2011年4月1日～
2013年3月31日(2年間)

寄付金額

20,002,153円



高濃度 CO 測定器 流山消防署へ寄贈 (2013年3月6日)

地域貢献を目的に、火災鎮火後の再燃火災防止機器およびCO(一酸化炭素)事故調査等の災害対応の資機材として、地元である流山消防署へ高濃度CO測定器(TGSGHD)を4台寄贈しました。



会社概要

(平成25年3月31日現在)

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	304名(連結560名)
所在地	千葉県流山市東初石六丁目183番1 TEL 04-7178-5535 FAX 04-7178-5557
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、 複合材、防水材、各種測定器の企画開発・ 製造・販売・施工及び輸出入

役員

代表取締役社長	洞下 英人
取締役副社長	佐藤 静男
常務取締役	洞下 正人
常務取締役	八谷 剛
常務取締役	上石 茂行
取締役	佐藤 靖
監査役	甲斐 常敏
監査役	鈴木 英雄
監査役	埴 善光

関連会社

連結子会社

SANKO FASTEM (THAILAND) LTD.
三幸商事顧問股份有限公司
株式会社IKK
アイエスエム・インタナショナル株式会社
株式会社スイコー
SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD.

持分法適用関連会社 株式会社サンオー

持分法非適用関連会社 株式会社イーオプティマイズ

株式の状況

(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	8,500,000株
発行済株式の総数	2,186,352株
株主数	1,554名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	286	13.11
東京中小企業投資育成株式会社	180	8.23
有限会社サンワールド	170	7.77
サンコーテクノ社員持株会	122	5.58
濱中ナット販売株式会社	84	3.84
新井 栄	65	2.99
洞下 照夫	53	2.45
株式会社みずほ銀行	44	2.03
佐久間 菊子	41	1.91
佐藤 静男	39	1.82

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は自己株式(151千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

サンコーテクノ株式会社

〒270-0114 千葉県流山市東初石六丁目183番1

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事 由によって電子公告をする事ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

お問い合わせ先

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の 証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取り扱いいたします。 ※カスタマープラザではお取り扱いできませ んのでご了承ください。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません のでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の 郵便物送付先・電話お問 合せ先・各種手続きお取扱 店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・ 買増以外の株式売買はできません。証 券会社等に口座を開設し、株式の振替 手続を行っていただく必要があります。

Web Information

当社のホームページでは株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示をしております。当社をより理解していただくためにも、ぜひアクセスをお願いいたします。



<http://www.sanko-techno.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、
植物インキとFSC®認証紙を
使用しています。

本冊子は、東北地方の復興支援の一環として、東北のデザイン会社および印刷会社に制作を依頼し、発行いたしました。